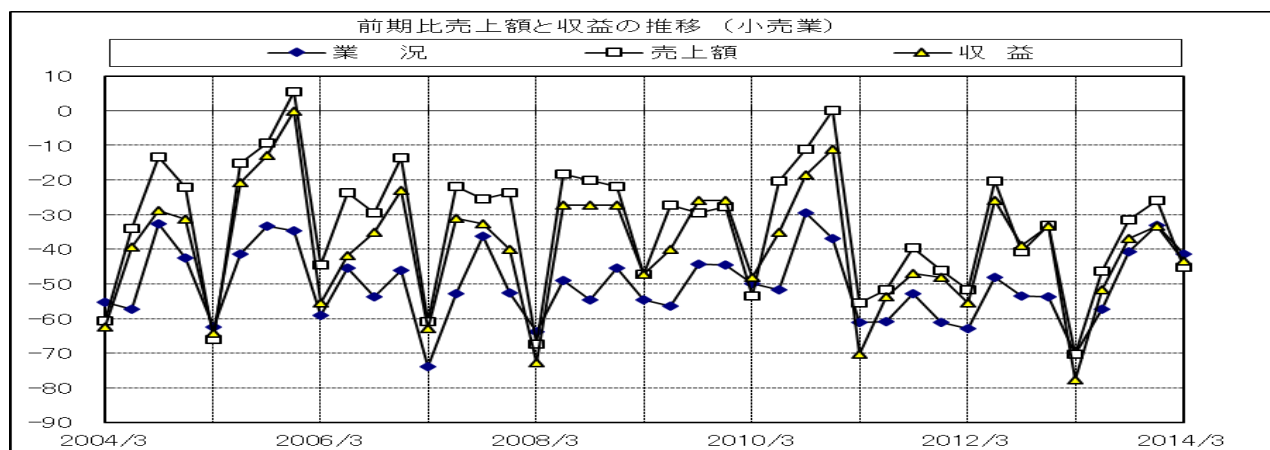


小 売 業 53 企業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
業 況	-40.7	-33.2	-41.5	-37.8
売上額	-31.5	-25.9	-45.3	-26.4
収 益	-37.0	-33.3	-43.4	-32.1

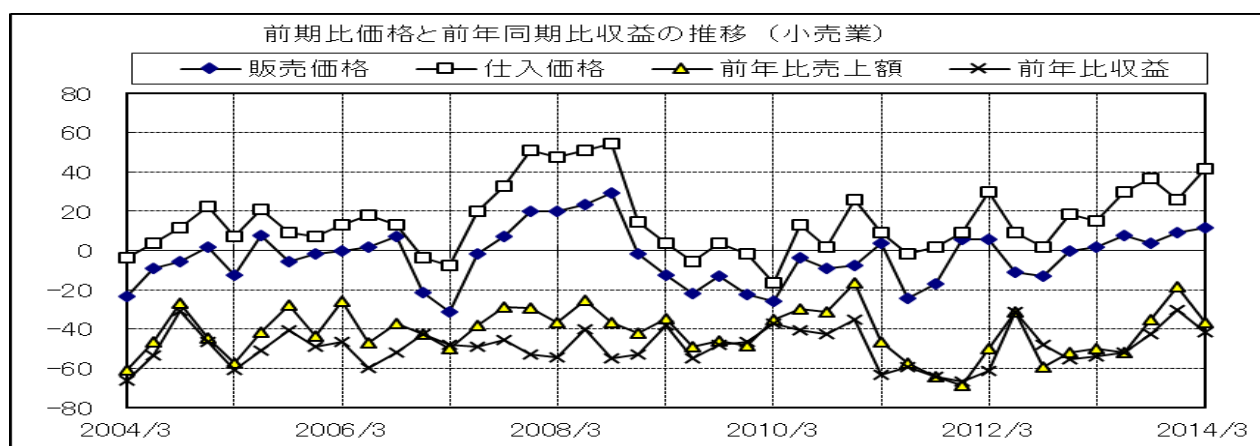
今期の業況判断DIは△41.5と、前期比8.3ポイント下降した。地区別のDIは、高い順に静内、広尾、三石、浦河、えりも、様似と続いた。業況判断DIは、前年（△70.3）比28.8ポイントの上昇となった。売上額判断DIは△45.3と、前期比19.4ポイント下降した。収益判断DIは△43.4と、前期比10.1ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
販売価格	3.6	9.3	11.4	5.7
仕入価格	36.9	25.9	41.5	32.1

販売価格判断DIは11.4と、前期比2.1ポイント上昇した。仕入価格判断DIは41.5と、前期比15.6ポイント上昇、価格上昇基調を強めた。販売、仕入価格は前年比でも9.6、26.7ポイントそれぞれ上昇した。業種別にみると、衣料品の販売価格は下降、仕入価格は横ばいとなった。食料品は販売・仕入価格ともに上昇。家電品は販売価格横ばい、仕入価格は下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
残業時間	-7.4	-9.3	-17.0	-11.4
人手状況	-3.7	-7.4	-15.1	-15.1

残業時間判断DIは△17.0と、前期比7.7ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断DIは△15.1と、前期比7.7ポイント下降し、人手不足感が強まった。

□ 設備投資の動き

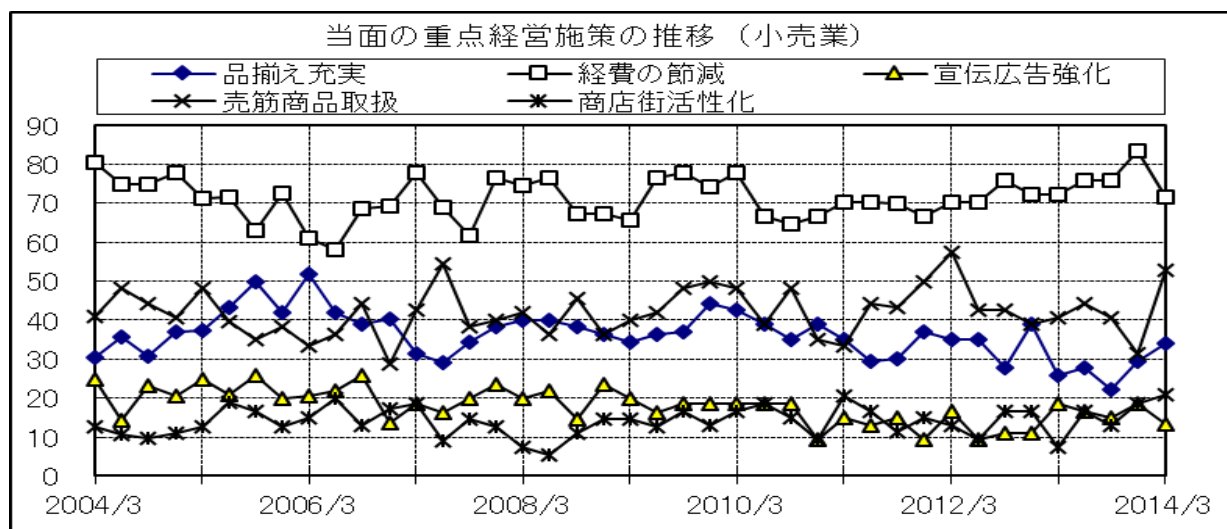
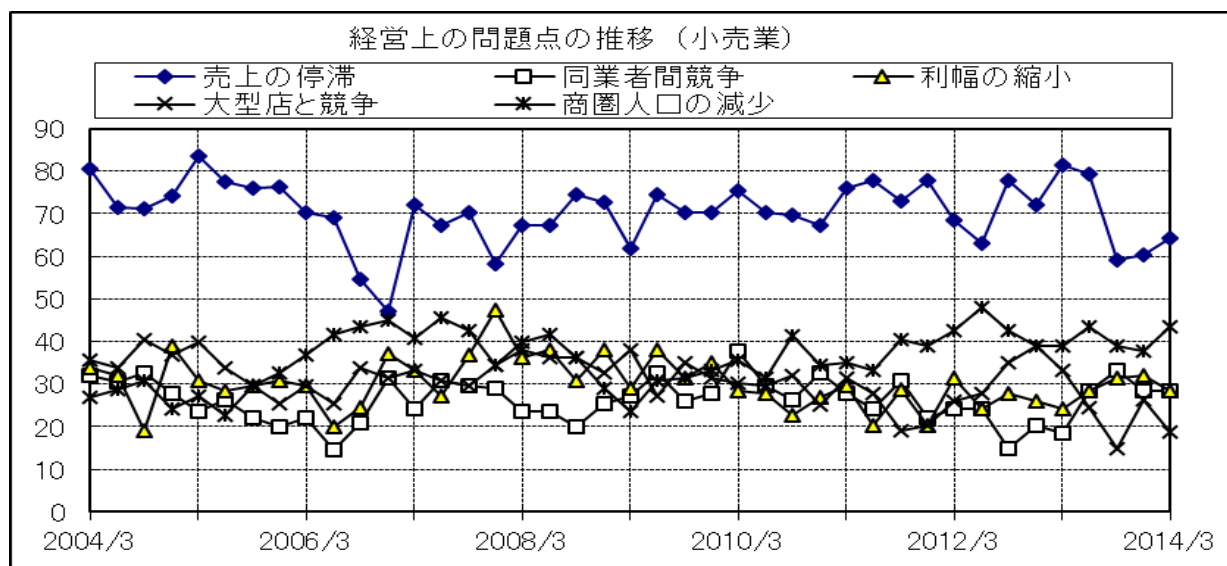
設備投資の充足感を示すD Iは $\Delta 7.5$ と、前期比1.8ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は11.3で、前期比1.7ポイント下降、前期の7社に対し6社の実施となった。来期の設備投資は、今期と同じく6社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ64.2%、次いで「商圈人口の減少」43.4%、「利幅の縮小」・「同業者との競合」が28.3%で続いている。「値上げの要請」も24.5%見られた。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ71.7%、次いで「売れ筋商品取扱い」52.8%、「品揃えの改善」34.0%、「商店街の活性化」20.8%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは $\Delta 37.8$ と、今期比3.7ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D Iは $\Delta 26.4$ と、今期比18.9ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D Iは $\Delta 32.1$ と、今期比11.3ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D Iは5.7と、今期比5.7ポイントの下降を見通している。

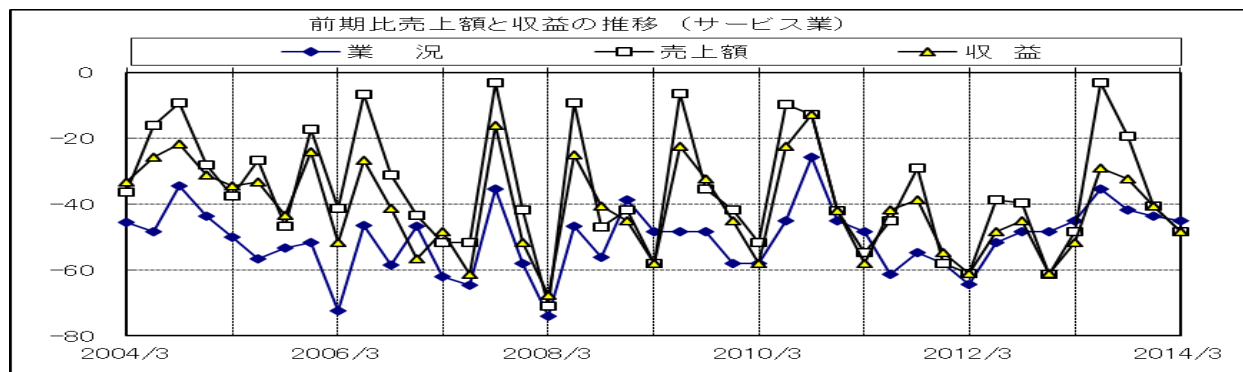
予想仕入価格判断D Iは32.1と、今期比9.4ポイントの下降を見通している。

サービス業 32 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
業 況	-41.9	-43.7	-45.2	-45.2
売上額	-19.4	-40.6	-48.4	-9.8
収 益	-32.3	-40.6	-48.4	-29.0

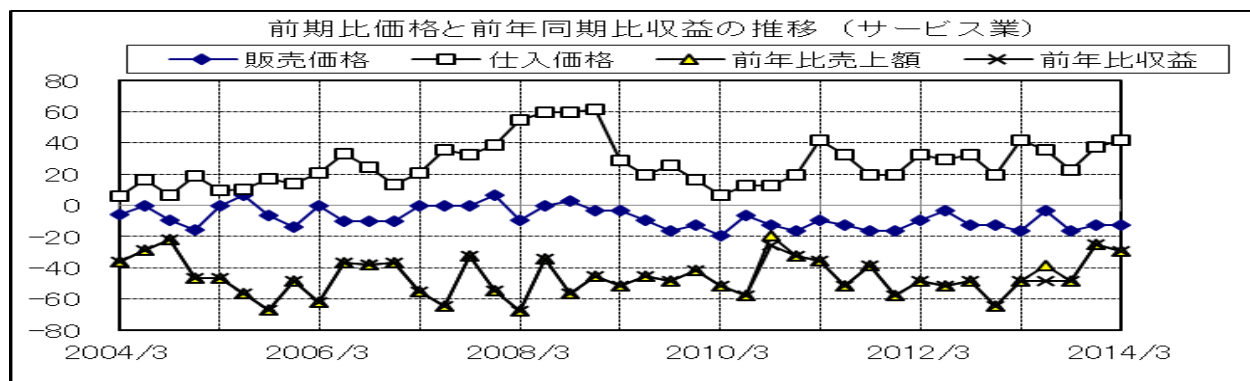
今期の業況判断DIは△45.2と、前期比1.5ポイント下降した。地区別のDIは、えりもが最も高く、次に浦河、広尾・様似が同値で並び、三石、静内と続いた。前年（△45.2）比では今期と横ばいであった。売上額判断、収益判断DIはともに△48.4で、前期比7.8ポイント下降した。



□ 価格面の動きと前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
料金価格	-16.1	-12.4	-12.8	0.0
材料価格	22.6	37.6	41.9	35.5

料金価格判断はDI△12.8と、前期比0.4ポイント下降した。材料価格判断DIは41.9と、前期比4.3ポイント上昇した。料金価格は前年比で3.4ポイント上昇した。材料価格は同比横ばいとなった。業種別にみると旅館は、料金価格で横ばい、材料価格は上昇となった。洗濯理美容は、料金価格・材料価格ともに下降。自動車整備業は料金価格で下降、材料価格は横ばいとなった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
残業時間	-16.1	-12.5	-16.1	-16.2
人手状況	-12.9	-12.5	-6.5	-12.8

残業時間判断DIは△16.1と、前期比3.6ポイント下降、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

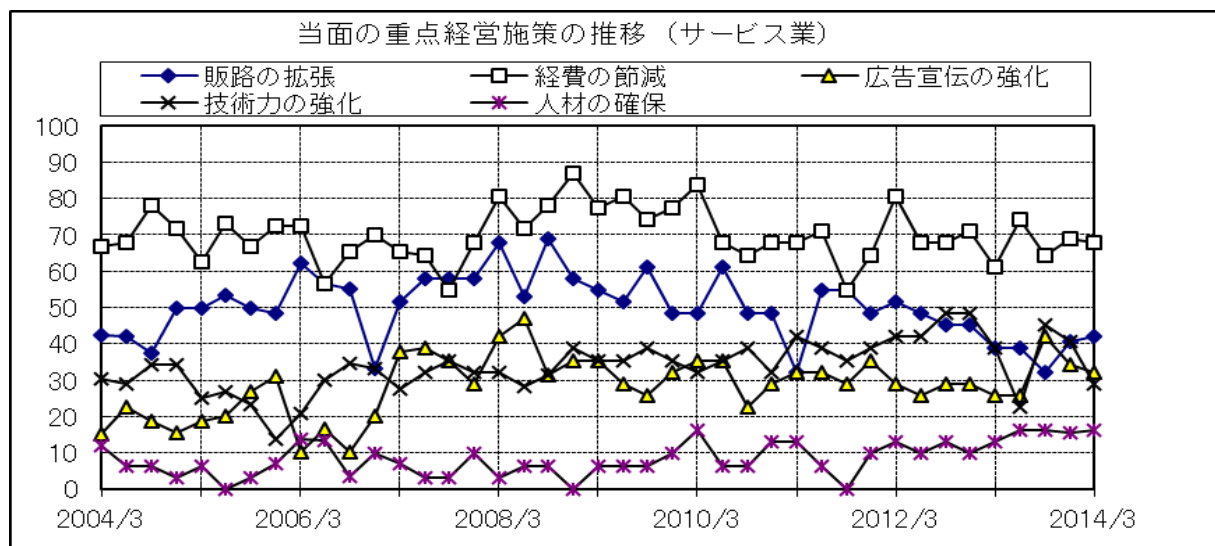
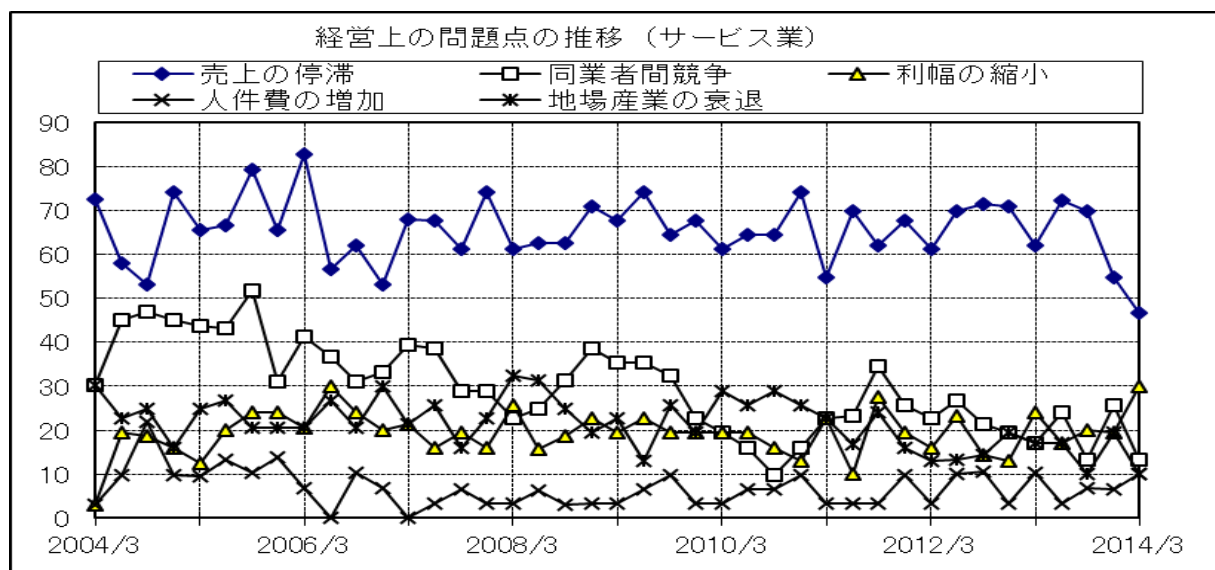
人手過不足判断DIは△6.5と、前期比6.0ポイント上昇し人手不足感を弱めた。

□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD Iは $\Delta 9.6$ と、前期比9.1ポイント上昇し不足感を弱めた。
設備投資実施企業割合は12.9と、前期比18.3ポイント上昇、前期の10社に対し4社の実施となった。
来期の設備投資は、7社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ46.7%、次いで「商圈人口の減少」40.0%、「材料価格の上昇」36.7%、「利幅の縮小」が30.0%で続いている。
重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ67.7%、次いで「販路を広げる」が41.9%、「宣伝広告の強化」32.3%、「技術力を強化する」29.0%の順となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは $\Delta 45.2$ と、今期と横ばいを見通している。
予想売上額判断D Iは $\Delta 9.8$ と、今期比38.6ポイントの上昇を見通している。
予想収益判断D Iは $\Delta 29.0$ と、今期比19.4ポイントの上昇を見通している。
予想料金価格判断D Iはゼロ水準と、今期比 $\Delta 12.8$ ポイントの上昇を見通している。
予想材料価格判断D Iは35.5と、今期比6.4ポイントの下降を見通している。